

## 2024年度 授業計画 (シラバス)

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	インテリア計画Ⅱ			担当教員	藤原真由美	時期	通年
単位数	4	総授業時間数	120	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	インテリア計画Ⅰで学んだ知識を実践にいかせるよう、提案力をつける訓練をする。						
授業の概要	インテリアコーディネーター試験受験とプレゼンテーション技法の習得。						
成績評価方法	成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。 平常点、提出物、検定結果						
使用教材	インテリアコーディネーターハンドブック(上・下)、インテリアコーディネーター1次試験過去問題徹底研究、インテリアコーディネーター用語辞典、はじめてのインテリア製図合格する図面の描き方						
履修上の注意事項							
授業内容							
前期				後期			
	単元	内容			単元	内容	
第1回	インテリア要素 関連要素1	インテリア要素について学ぶ。		第28回	インテリアの構造・構法 と仕上げ3	造作について学ぶ。	
第2-3回	インテリア要素 関連要素2	住宅用家具について学ぶ。		第29回	インテリアの構造・構法 と仕上げ4	造作材について学ぶ。	
第4回	インテリア要素 関連要素3	造作部品について学ぶ。		第30回	インテリアの構造・構法 と仕上げ5	内部および外部の建具について学ぶ。	
第5-6回	インテリア要素 関連要素4	ウインド・トリートメントについて学ぶ。		第31回	インテリアの構造・構法 と仕上げ6	建具金物およびガラスについて学ぶ。	
第7-8回	インテリア要素 関連要素5	カーペットについて学ぶ。		第32回	インテリアの構造・構法 と仕上げ7	床および壁仕上げについて学ぶ。	
第9回	インテリア要素 関連要素6	インテリアアクセント・アートについて学ぶ。		第33回	インテリアの構造・構法 と仕上げ8	天井仕上げおよび塗装について学ぶ。	
第10回	インテリア要素 関連要素7	キッチン用品について学ぶ。		第34-35回	インテリアの構造・構法 と仕上げ9-10	インテリアのリフォームについて学ぶ。	
第11回	インテリア要素 関連要素8	エクステリア要素について学ぶ。		第36-40回	1次試験対策	インテリアコーディネーター1次試験の過去問題に取り組む。	
第12回	インテリア要素 関連要素9	要素などの関連情報について学ぶ。		第41-60回	2次試験対策	インテリアコーディネーター2次試験のためのプラン製図や論文を学ぶ。	
第13-14回	照明1	照明設備について学ぶ。					
第15回	照明2	水廻り設備について学ぶ。					
第16回	インテリアコーディネーターの誕生とその背景1	インテリア空間について学ぶ。					
第17回	インテリアコーディネーターの誕生とその背景2	インテリアの発展について学ぶ。					
第18回	インテリアコーディネーターの仕事1	インテリアコーディネーターの職能および実務について学ぶ。					
第19回	インテリアコーディネーターの仕事2	インテリアコーディネーターの職域について学ぶ。					
第20-25回	インテリア 提案課題	これまで学習したことを活かしてインテリアのプラン提案を行う。					
第26回	インテリアの構造・構法 と仕上げ1	インテリアの構成、床の構法、壁の構法について学ぶ。					
第27回	インテリアの構造・構法 と仕上げ2	天井の構法、スペースユニットについて学ぶ。					

## 2024年度 授業計画 (シラバス)

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	福祉住環境			担当教員	甘利賢一	時期	前期
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	高齢者や障害者、子供など多くの人たちが日常生活を安全で安心して過ごせる住環境を提案するために必要な医療・福祉・建築に関する基礎知識を習得する。						
授業の概要	福祉住環境コーディネーター検定試験の公式テキストをもとに、基礎知識を講義し、検定試験に合格するためのスキルを身につけさせる。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び小テスト並びに検定試験						
使用教材	福祉住環境コーディネーター検定試験3級 公式テキスト(東京商工会議所)						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	少子高齢社会	少子高齢社会と共生社会への道		第16回	福祉用具	福祉用具の定義と役割、分類	
第2回	社会の取り組み	地域社会、社会全体の取り組みの必要性		第17回	快適な住まい	住まいの整備のための基本技術	
第3回	福祉住環境整備の必要性	日本の住環境の問題点 福祉住環境コーディネーターの役割		第18回	快適な住まい	住まいの整備のための基本技術	
第4回	介護保険制度	高齢者の自立生活を支える介護保険制度		第19回	快適な住まい	住まいの整備のための基本技術	
第5回	障害者総合支援法	障害者総合支援法のしくみ		第20回	快適な住まい	住まいの整備のための基本技術	
第6回	健康と自立	老化と健康で自立できる高齢期に必要なこと		第21回	快適な住まい	生活行為別にみる安全・安心・快適な住まい	
第7回	健康と自立	老化と健康で自立できる高齢期に必要なこと		第22回	快適な住まい	生活行為別にみる安全・安心・快適な住まい	
第8回	障害者の生活不自由の克服	障害の種類と自立障害者の在宅生活と社会参加		第23回	快適な住まい	生活行為別にみる安全・安心・快適な住まい	
第9回	障害者の生活不自由の克服	障害の種類と自立障害者の在宅生活と社会参加		第24回	快適な住まい	生活行為別にみる安全・安心・快適な住まい	
第10回	バリアフリーとユニバーサルデザイン	バリアフリーとユニバーサルデザインの考え方		第25回	安心できる住生活	ライフスタイルの多様化と住まい	
第11回	バリアフリーとユニバーサルデザイン	バリアフリーとユニバーサルデザインの考え方		第26回	安心できる住生活	安心できる住生活	
第12回	用具の活用	生活の中の問題点と用具の活用		第27回	安心できる住生活	安心できる住生活	
第13回	共用品	共用品の定義と具体例		第28回	安心できる住生活	安心して暮らせるまちづくり	
第14回	共用品	共用品の定義と具体例		第29回	安心できる住生活	安心して暮らせるまちづくり	
第15回	福祉用具	福祉用具の定義と役割、分類		第30回	実践事例	地域で取り組む福祉のまちづくり事例	

## 2024年度 授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	建築法規			担当教員	藤原真由美	時期	前期
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	建築関連法令を理解し、各種法的手続きが行える能力を育てる。						
授業の概要	建築基準法、建築士法、建設業法、消防法、品確法、新バリアフリー法、P L 法等、建築に係わる基本的法律を講義する。また、各種法的手続きが行える能力を習得す。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び定期試験						
使用教材	建築関係法令集（建築資料研究社）、図説やさしい建築法規（学芸出版社）						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	法規の概要	法令集セットアップ・建築のルール・法規の体系		第19回	単体規定	一般構造・設備（各種設備）	
第2回	用語の定義	建築基準法の構成 法令用語・建築基準法用語		第20回	集団規定	敷地と道路の関係・建築制限・敷地面積の最低限度	
第3回	面積・高さ・階数の定義	各種面積・建築物の高さ・地盤面・軒の高さ・階数の算定		第21回	集団規定	建築物の用途制限・用途地域	
第4回	制度規定	建築手続きに関する用語・必要な行為等		第22回	集団規定	容積率と建蔽率	
第5回	単体規定	構造計算・構造規定・構造強度（構造耐力・木造）		第23回	集団規定	高さ制限	
第6回	単体規定	構造強度（組積造・CB造）		第24回	集団規定	防火地域	
第7回	単体規定	構造強度（鉄骨造）		第25回	消防法	建築に関わる消防について	
第8回	単体規定	構造強度（RC造）		第26回	都市計画法	都市計画、開発行為	
第9回	単体規定	防火・避難関係規定（用語の定義）		第27回	建築士法	建築士の業務・義務・事務所	
第10回	単体規定	耐火建築物・準耐火建築物		第28回	建築士法	その他	
第11回	単体規定	耐火性能検証法・避難安全検証法		第29回	建設業法	建設業・建設工事	
第12回	単体規定	防火区画・界壁		第30回	良好な建築を促進する法規	その他の関連法規	
第13回	単体規定	排煙設備・非常用設備等					
第14回	単体規定	内装制限					
第15回	単体規定	避難施設（廊下・階段・出入口）					
第16回	単体規定	一般構造・設備（各種高さ・幅等）					
第17回	単体規定	一般構造・設備（採光）					
第18回	単体規定	一般構造・設備（換気）					

## 2024年度 授業計画 (シラバス)

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	構造力学			担当教員	甘利賢一	時期	前期
単位数	3	総授業時間数	90	授業形式	演習	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	建築構造設計に関する基礎的な知識を習得させ、構造物を合理的に設計する能力を育てる。						
授業の概要	静定構造物の応力や断面の性質、応力度・変形・座屈の計算、不静定構造物の応力について講義し、演習を通じて解析が出来る能力を習得する。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び小テストと定期考査						
使用教材	図説やさしい構造力学 (学芸出版社)						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	力とは	基礎的な計算練習と力について		第27～28回	応力度	曲げ応力度	
第2回	力のつり合い	力の合成、分解とつり合いについて		第29～30回	応力とひずみ度	弾性係数、ヤング係数	
第3回	荷重の定義	構造モデルの表示法、荷重の種類について		第31～32回	許容応力度	許容応力度の計算	
第4～5回	反力	単純梁、片持ち梁の反力の求め方		第33～34回	座屈	座屈の計算	
第6～7回	反力	単純梁系ラーメン、3ヒンジラーメンの反力の求め方		第35～36回	たわみ	たわみとたわみ角について	
第8回	応力とは	応力の種類について		第37～38回	不静定構造	不静定構造について	
第9～10回	応力	単純梁、片持ち梁の応力の求め方		第39～40回	不静定構造	不静定構造の解法	
第11～12回	応力	単純梁系ラーメン、3ヒンジラーメンの応力の求め方		第41～44回	塑性解析	塑性解析の基礎	
第13回	トラスとは	トラス構造について		第45回	まとめ	力学のまとめについて	
第14～15回	節点法	トラスの解法について					
第16～17回	切断法	トラスの解法について					
第18～19回	断面の性質	断面1次モーメント、断面2次モーメントの解法					
第20～22回	断面の性質	断面係数、断面2次半径、断面曲次モーメントの解法					
第23～24回	変形	ひずみとひずみ度					
第25～26回	応力度	軸応力度、せん断応力度					

## 2024年度 授業計画 (シラバス)

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	建築施工			担当教員	大竹雅英	時期	通年
単位数	4	総授業時間数	120	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員	○	実務経験	設計事務所を営む一級建築士の建築家の教員が、実務経験を踏まえて指導を行う。				
授業の到達目標	建築施工に関する基礎的知識と技術を修得させ、建築現場で実際に活用できる能力を育てる。						
授業の概要	工程計画や施工管理、各工事の施工方法、建築積算など基礎的な知識を講義する。また、現場管理人として必要な知識を習得する。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び小テスト。 成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。						
使用教材	誰でもわかる 建築施工 改訂3版(彰国社)、構造用教材 (日本建築学会)						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1～2回	工事の概要、請負契約	建築工事概要と施工管理業務。施工者の選定、請負の種類、建設業法。		第37～38回	メーソソリー、押出成形セメント板工事	コンクリートブロック、レンガ。ALCパネル、押出成形セメント板。	
第3～4回	施工体制	現場代理人、主任技術者、監理技術者の選任、施工体系図。		第39～40回	防水工事	アスファルト防水、シート防水、塗膜防水、シーリング工事等。	
第5～6回	施工計画	施工計画書の種類、確認する内容、実例。		第41～42回	張り石工事、タイル工事	石材の乾式工法と湿式工法。タイルの種類、凍害、張付け工法、検査。	
第7～8回	工程管理	工程表の作成、マイルストーン、ネットワーク工程表の読み方。		第43～44回	木工事	木材の種類、現場施工、接合金物、防腐処理、面材耐力壁。	
第9～10回	品質管理	品質管理の方法、瑕疵担保責任、住宅の品質確保の促進等に関する法律。		第45～46回	左官工事	左官材料、下地の種類と調整、施工手順、セルフレベルング材。	
第11～12回	安全衛生管理、環境管理	労働災害の予防。建設リサイクル法、産業廃棄物。		第47～48回	屋根工事	屋根葺きの仕様と勾配、樋・ルーフトレイン、各部のディテール。	
第13～14回	材料管理	JIS,JASマークの表示、ミルシート、安全データシートの確認。		第49～50回	金属工事	表面処理の方法、接触腐食、笠木・手摺、あと施工アンカー。	
第15～16回	各種届出	建築基準法、建設業法、労働基準法、消防法等の法令順守の手続き。		第51～52回	カーテンウォール工事、ガラス工事	工法、層間変位追従性能、水密性能。ガラスの種類と特徴。	
第17～18回	測量	測量方法、地縄張り、ベンチマーク、水盛・遣り方。		第53～54回	建具工事	建具の種類、材料、性能、金物、検査方法。	
第19～20回	地盤調査	標準貫入試験、SWS試験、平板載荷試験、室内土質試験、土質柱状図。		第55～56回	内装工事、塗装工事	床・壁・天井の材料、下地、断熱。素地調整、施工方法、検査方法。	
第21～22回	仮設工事	総合仮設計画、工事動線、仮囲い、外部足場、揚重設備、安全対策。		第57～58回	設備工事	給排水衛生、空調、電気、ガス、消防。	
第23～24回	土工事	土の性質、液状化現象、山留め工事、根切り工事、地下水処理工法。		第59～60回	改修工事、建設工事用機械	防水、外壁、内装、耐震、環境配慮。	
第25～26回	杭・地業工事	地業の種類と施工方法、地盤改良工事の工法。					
第27～28回	鉄筋工事	鉄筋の種類、加工、組立、定着と継手方法、配筋検査、鉄筋のかぶり厚さ。					
第29～30回	型枠工事	型枠組立方法と使用材料、せき板・支保工の存置期間、施工検査。					
第31～32回	コンクリート工事	コンクリートの種類、品質、調合、運搬、荷卸し、打込み、締固め、養生。					
第33～34回	鉄骨工事	鋼材の種類、製作工場、溶接、建方、高力ボルト、耐火被覆、施工検査。					
第35～36回	プレキャスト鉄筋コンクリート工事	PRC工事の特徴、製造方法、部材の組立方法、目地の処理。					

## 2024年度 授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	実験実習			担当教員	甘利賢一	時期	前期
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	実習	授業場所	実験室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	各種測量技術の基本的技術を習得させる。また、建築材料の特性を実験を通して理解させる。						
授業の概要	測量（平板測量、水準測量、セオドライト測量）の概要・使用方法を講義し、実習により基本操作方法を習得する。また、材料（木材、鉄筋、コンクリート）の基本的性質を講義し、圧縮・引張り試験により基本的特性を理解する。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び実習レポート						
使用教材	建築実習1（実教出版）、建築実習2（実教出版）						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1～2回	距離測量	講義、練習、演習					
第3～4回	平板測量	講義、練習					
第5～6回	平板測量	実習①、レポート作成					
第7～8回	水準測量	講義、練習					
第9～10回	水準測量	実習②、レポート作成					
第11～12回	セオドライト測量	講義、練習					
第13～14回	セオドライト測量	実習④、レポート作成					
第15～16回	鋼材	講義					
第17～18回	セメント	講義、供試体作成					
第19～20回	コンクリート	講義、調合設計					
第21～22回	コンクリート	供試体作成、スランプ試験					
第23～24回	鋼材	引張試験、レポート作成					
第25～26回	セメント	圧縮試験、レポート作成					
第27～28回	木材	講義、供試体計測、試験					
第29～30回	コンクリート	圧縮試験、レポート作成					

## 2024年度 授業計画 (シラバス)

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	設計製図Ⅲ			担当教員	片倉隆幸	時期	前期
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	演習	授業場所	普通教室
実務教員	○	実務経験	設計事務所を営む一級建築士の建築家の教員が、実務経験を踏まえて指導を行う。				
授業の到達目標	設計製図に関する基本的な知識と技術を総合的に習得させ、図面を構想し作成する能力を育てる。 また、2級建築士レベルの建築スキルを身につけさせる。						
授業の概要	設計課題を通して、建築知識を複合して設計できる能力を習得する。 また、2級建築士 実技試験の問題を通して、実技試験に合格できる実力を習得する。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び課題						
使用教材	平行定規 A 2 版、三角スケール、三角定規、製図用シャープペン、型板他						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	第1 課題出題	2家族がシェアする週末住居の在り方		第19回	提出・講評	図面をレイアウト・模型完成・修正	
第2回	プレゼン・講評	A3プレゼンボード提出 (思想をカラー ージュ)		第20回	ポスターセッション	講評	
第3回	イメージを発表	講評		第21回	題2 課題出題	まちに集う	
第4回	イメージを発表	講評		第22回	プレゼン・講評	敷地調査	
第5回	実習・講評	平面断面エスキスチェック		第23回	イメージを発表	講評	
第6回	実習・講評	平面断面エスキスチェック		第24回	実習・講評	エスキスチェック	
第7回	実習・講評	平面断面エスキスチェック		第25回	実習・講評	エスキスチェック	
第8回	実習・講評	平面断面エスキスチェック		第26回	実習・講評	エスキスチェック	
第9回	実習・講評	エスキスチェック		第27回	実習・講評	エスキスチェック	
第10回	実習・講評	エスキスチェック		第28回	実習・講評	作図・模型	
第11回	実習・講評	エスキスチェック		第29回	実習・講評	作図・模型	
第12回	実習・講評	エスキスチェック		第30回	ポスターセッション	講評	
第13回	実習・講評	作図・模型					
第14回	実習・講評	作図・模型					
第15回	実習・講評	作図・模型					
第16回	実習・講評	作図・模型					
第17回	実習・講評	作図・模型					
第18回	実習・講評	作図・模型					

## 2024年度 授業計画 (シラバス)

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	建築演習			担当教員	甘利賢一 藤原真由美	時期	後期
単位数	4	総授業時間数	120	授業形式	演習	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	建築に関する知識を深め、卒業後受験する2級建築士 学科試験に合格する。						
授業の概要	2級建築士 学科試験の過去問題及び2級施工管理技士 学科試験の演習をする。これまで学んだ建築の知識を総合的に理解させ、2級建築士に合格できる実力を習得させる。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び定期試験						
使用教材	2級建築士過去7年問題集(成美堂出版)、井上 建築関係法令集(井上書院)						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1～2回	建築史	日本・西洋・近代の建築史 過去問題演習・解説		第31～32回	構造力学	断面の性質等 過去問題演習・解説	
第3～4回	環境工学	伝熱・結露・換気等 過去問題演習・解説		第33～34回	構造力学	力のつり合い 過去問題演習・解説	
第5～6回	環境工学	日照・採光・色彩・音響等 過去問題演習・解説		第35～36回	構造計画	荷重・地盤・基礎構造等 過去問題演習・解説	
第7～8回	計画各論	都市計画・住宅建築 過去問題演習・解説		第37～38回	各種構造	木造・S造等 過去問題演習・解説	
第9～10回	計画各論	社会施設等 過去問題演習・解説		第39～40回	各種構造	RC造・その他構造 過去問題演習・解説	
第11～12回	計画各論	商業施設等 過去問題演習・解説		第41～42回	材料	建築材料① 過去問題演習・解説	
第13～14回	建築設備	空調・電気等 過去問題演習・解説		第43～44回	材料	建築材料② 過去問題演習・解説	
第15～16回	建築設備	給排水衛生・消火・防災等 過去問題演習・解説		第45～46回	施工管理 現場実務	施工計画・材料管理・法手続き等 過去問題演習・解説	
第17～18回	単体規定	面積・高さ・手続き等 過去問題演習・解説		第47～48回	各種工事	仮設・鉄筋・型枠・コンクリート 過去問題演習・解説	
第19～20回	単体規定	防火・避難等 過去問題演習・解説		第49～50回	各種工事	鉄骨・CB・木 過去問題演習・解説	
第21～22回	単体規定	構造強度等 過去問題演習・解説		第51～52回	各種材料工事	防水・屋根・左官 過去問題演習・解説	
第23～24回	集団規定	容積率・建蔽率・高さ制限等 過去問題演習・解説		第53～54回	各種材料工事	塗装・吹付・石・タイル 過去問題演習・解説	
第25～26回	集団規定	日影規制・その他の規定等 過去問題演習・解説		第55～56回	各種材料工事	建具・ガラス・内装・断熱 過去問題演習・解説	
第27～28回	関係法規	建築士法・消防法等 過去問題演習・解説		第57～58回	設備工事	各種設備 過去問題演習・解説	
第29～30回	関係法規	その他の法規 過去問題演習・解説		第59～60回	測量・積算	測量・積算 過去問題演習・解説	





## 2024年度 授業計画 (シラバス)

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	プレゼンテーションII			担当教員	甘利賢一	時期	通年
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	演習	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	1年次に身につけた伝える技術（プレゼンテーション能力）の更なる向上を目指し、ビジネスの場で必要な表現方法を身につける。						
授業の概要	1年次に学んだプレゼンテーション技法を活用し、実践的なプレゼンテーションを行えるようにする。 また、プレゼンテーションをするため心構えも身に付ける。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及びプレゼンの完成度 成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。						
使用教材							
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	日本人の心	日本精神について		第29回	【グループ】 プレゼンまとめ	プレゼン内容の要点をボードにまとめる	
第2~3回	【個人】 リサーチ	課題に対するリサーチを行う		第30回	心構え④	発表者の心構え④	
第4~5回	【個人】 プレゼン企画	明確な主題を設定し必要なプレゼン企画を作成する。					
第6~8回	【個人】 プレゼン作成	企画に従いプレゼンテーションを作成					
第9回	心構え①	発表者の心構え①					
第10~11回	【個人】 プレゼン発表	発表会を通じて、修正点を見出し改善					
第12~13回	【個人】 プレゼン振り返り	修正点を振り返り、プレゼンを改善をする					
第14~15回	【個人】 再発表	改善したプレゼンを発表・振り返り					
第16回	心構え②	発表者の心構え②					
第17回	チーム編成	プレゼンのテーマごとにチームを編成					
第18~19回	【グループ】 リサーチ	課題に対するリサーチを深め、チームでのアイデアを反映させる					
第20~22回	【グループ】 プレゼン企画	明確な主題を設定し必要なプレゼン企画を作成、チームでの分担を明確にする					
第23~25回	【グループ】 プレゼン作成	企画に従いプレゼンテーションを作成					
第26回	心構え③	発表者の心構え③					
第27~28回	【グループ】 プレゼン発表	改善したプレゼンを発表・振り返り					

## 2024年度 授業計画 (シラバス)

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	リテラシー			担当教員	林ゆかり	時期	後期
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	自分に必要な、信頼できる、信ぴょう性のある情報を取得できる。ITの利点と危険性を知り、適切に利用できる。社会の一般常識の知識を得、社会人としての基礎教養をつける。						
授業の概要	情報化社会で必要なリテラシーの習得（ネットワーク・セキュリティ・基本的なIT技術）。企業活動・知的財産権・経営戦略など、会社組織の知識、社会常識として知っておきたいこと（税金・年金・貯蓄・消費税・お金の動きなど）を習得する。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び定期考査						
使用教材	情報モラル&情報セキュリティ（FOM出版）						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1・2回	電子メール	ビジネスメールの書き方		第31・32回	セキュリティ	ネットワークセキュリティ	
第3・4回	電子メール	電子メールのセキュリティと個人情報 の考え方		第33・34回	セキュリティ	暗号化・デジタル署名	
第5・6回	情報モラル	情報化社会のモラルとセキュリティ		第35・36回	コンピュータの ハードウェア	5大装置とCPU メモリ	
第7・8回	個人情報	個人情報の取り扱い		第37・38回	コンピュータの ハードウェア	補助記憶装置 入出力装置とインターフェース	
第9・10回	個人情報	個人情報の流出		第39・40回	コンピュータの ハードウェア	バックアップ データ形式とマルチメディア	
第11・12回	デジタル時代の著作権	著作権		第41・42回	信頼性と信ぴょう性	情報の信頼性と信ぴょう性	
第13・14回	デジタル時代の著作権	産業財産権		第43・44回	Webコミュニケーション	SNSで情報発信するメリット・炎上	
第15・16回	デジタル時代の著作権	レンタルメディア・TV番組・書籍 の著作権		第45・46回	Webコミュニケーション	災害時のSNS・デマ投稿	
第17・18回	ネットワーク	インターネットの仕組み		第47・48回	Webコミュニケーション	クラウドを使いこなす	
第19・20回	ネットワーク	通信サービス WWW		第49・50回	モバイル機器の管理	モバイル機器のルール違反・セキュリティ	
第21・22回	ネットワーク	無線LAN		第51・52回	経営戦略	企業活動と組織	
第23・24回	セキュリティ	情報セキュリティ		第53・54回	経営戦略	企業における会計処理の概要	
第25・26回	セキュリティ	ユーザ認証とアクセス管理		第55・56回	経営戦略	事業戦略・マーケティング戦略	
第27・28回	セキュリティ	コンピュータウイルス		第57・58回	景気の変動	為替の変動と景気の変動	
第29・30回	セキュリティ	マルウェアとサイバー攻撃		第59・60回	労働基準法	働く若者ハンドブック	

## 2024年度 授業計画 (シラバス)

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	インテリア計画Ⅰ			担当教員	藤原真由美	時期	通年
単位数	5	総授業時間数	150	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	基礎的な建築の知識、インテリア関連商品の知識、デザイン史について習得させ、インテリアコーディネーターとシテ取得した知識と技術を活かせる能力を育てる。						
授業の概要	インテリアコーディネーターに必要な基礎的な建築の知識、インテリア関連商品の知識、デザイン史について講義する。また、インテリアプランニングノ実習を通じ、プレゼンテーションの手法や考え方などを習得する。						
成績評価方法	成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。 平常点、提出物、検定結果						
使用教材	リビングスタイリスト資格試験公式テキスト、インテリアコーディネーターハンドブック(上・下)、インテリアコーディネーター用語辞典、はじめてのインテリア製図合格する図面の描き方						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単元	内容			単元	内容	
第1回	職業理解①	勉強スケジュールの説明やインテリアコーディネーターの仕事について理解する。		第35回	インテリア製図1	インテリア空間の平面図の描き方を学ぶ。	
第2回	職業理解②	インテリアコーディネーターとして実際に活躍している人の動画を鑑賞する。		第36回	インテリア製図2	インテリア空間の展開図の描き方を学ぶ。	
第3-4回	リビングスタイリストの仕事	リビングスタイリストの仕事の内容や心構えなどを学ぶ。		第37回	インテリア製図3	インテリア空間の詳細図の描き方を学ぶ。	
第5-6回	流通	流通の仕組みや業態等について学ぶ。		第38回	インテリア製図4	インテリア空間のアイテム図の描き方を学ぶ。	
第7回	情報	接客販売における「情報」について学ぶ。		第39回	インテリア製図5	インテリア空間のパースの描き方を学ぶ。	
第8-9回	マーケティング	マーケティングの基礎知識を学ぶ。		第40回	インテリア製図6	インテリア空間のパースの描き方を学ぶ。	
第10回	店舗演出	店舗演出の基本を学ぶ。		第41-44回	インテリア製図	アイソメの描き方を学ぶ	
第11回	DVD鑑賞	インテリアの本場を巡る動画を鑑賞し、その魅力に触れる。		第45-65回	課題制作	設計製図と連携し、自分で計画した住宅のインテリア計画を行う。	
第12-13回	家具	家具の分類や機能について学ぶ。		第66-68回	インテリアの歴史1	日本のインテリアの歴史を学ぶ。	
第14-15回	窓装飾	窓装飾の要素について学ぶ。		第69-71回	インテリアの歴史2	西洋のインテリアの歴史を学ぶ。	
第16-17回	照明	照明の基礎及び照明器具について学ぶ。		第72回	関連法規等1	建築基準法	
第18-19回	設備	住環境における設備について学ぶ。		第73回	関連法規等2	消防法、品確法、省エネ法	
第20-21回	住生活アクセサリ-	住環境を豊かに演出するアイテムについて学ぶ。		第74回	関連法規等3	区分所有法他、その他関連法規	
第22-23回	接客販売1	接客販売の仕事や購買心理などについて学ぶ。		第75回	関連法規等4	インテリア関連の制度と表示マーク	
第24-25回	接客販売2	話し方や身だしなみ、お客様への対応方法などを学ぶ。					
第26-27回	ビジネスマナー/法規	社会人の基本的マナー等および住生活産業に関わる法規を学ぶ。					
第28-33回	試験対策	リビングスタイリスト資格試験2級の過去問題に取り組む。					
第34回	検定試験	検定試験を受ける。					

## 2024年度 授業計画 (シラバス)

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	建築計画			担当教員	甘利賢一	時期	通年
単位数	4	総授業時間数	120	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	建築計画に関する環境工学、建築設備、計画各論および建築史の基礎的な知識を習得させ、建築物を合理的に計画し、設計できる能力を育てる。						
授業の概要	環境工学、建築設備、計画各論、建築史の基礎知識を講義し、建築計画の理念と意義、建築の手法とプロセス、自然環境と住生活条件との関係を修得する。また、理想的生活環境について理解を深めるとともに、基礎知識を習得する。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び定期考査 成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。						
使用教材	専門士課程 建築計画、インテリアコーディネーターハンドブック総合版						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1～2回	建築環境	風土・都市環境と建築のかかわりについて理解する		第37～38回	計画の基本	建物を計画する上で必要な基本的知識を理解する	
第3～4回	外部気候	気温・湿度・風・雨の自然現象の発生、特徴について理解する		第39～40回	人間工学	人間が使いやすい寸法を理解する	
第5～6回	室内気候	温熱感覚の指標について理解する		第41～42回	住宅	戸建て住宅、集合住宅を計画するために必要な基本的知識を理解する	
第7～8回	熱環境	伝熱・断熱の特徴を理解する		第43回	商業施設①	事務所・工場を計画するために必要な基本的知識を理解する	
第9～10回	換気と通風	大気成分、換気について理解する		第44回	商業施設②	店舗・百貨店を計画するために必要な基本的知識を理解する	
第11～12回	日照・日射・日影	太陽光による影響を理解する		第45回	商業施設③	劇場を計画するために必要な基本的知識を理解する	
第13～14回	色彩環境	色の表色系、心理効果を理解する		第46回	商業施設④	ホテル・寄宿舎を計画するために必要な基本的知識を理解する	
第15～16回	音環境	音の基本・遮音・吸音・騒音について理解する		第47回	商業施設⑤	駐車場を計画するために必要な基本的知識を理解する	
第17～18回	冷暖房設備	冷房・暖房設備のメカニズム、種類を理解する		第48回	社会施設①	小学校・中学校を計画するために必要な知識を理解する	
第19～20回	空調設備	空調方式、種類を理解する		第49回	社会施設②	幼稚園・保育園を計画するために必要な知識を理解する	
第21～22回	換気設備	換気目的、種類、計算方法を理解する		第50回	社会施設③	病院・診療所を計画するために必要な知識を理解する	
第23～24回	電気設備	電気の基礎、配線、電気工事について理解する		第51回	社会施設④	老人福祉施設を計画するために必要な知識を理解する	
第25～26回	照明設備	照明の種類、照明計算方法を理解する		第52回	文化施設①	図書館を計画するために必要な知識を理解する	
第27～28回	搬送設備	搬送設備の種類を理解する		第53回	文化施設②	美術館・博物館を計画するために必要な知識を理解する	
第29～30回	防火防災設備	防火・防災設備の種類を理解する		第54回	文化施設③	スポーツ施設を計画するために必要な知識を理解する	
第31～32回	給水設備	給水方法、設備を理解する		第55～56回	日本建築史	日本の建築史について理解する	
第33～34回	排水設備	排水方法・設備を理解する		第57～58回	西洋建築史	西洋の建築史について理解する	
第35～36回	衛生設備	衛生設備について理解する		第59～60回	近代建築史	近代建築の変遷を理解する	

## 2024年度 授業計画 (シラバス)

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	建築構造・材料			担当教員	甘利賢一	時期	通年
単位数	4	総授業時間数	120	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	各種の建築材料の性質を理解し、適材を適所に用いる能力を育てるとともに、各種の建築構造体の全体および各部を把握することを目標とする。						
授業の概要	各種構造の概要を講義し、設計等の実践に対する応用能力を習得する。また、建築材料の基本的性質・性能を講義し、適性な材料の使用方法を習得する。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び定期考査 成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。						
使用教材	初めての建築一般構造、構造用教材、インテリアコーディネーターハンドブック総合版						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	建築物の変遷	建築物の材料や構造の歴史を通じこれまでの変遷を理解する		第33～34回	主体構造	柱、梁の配筋について理解する	
第2回	構造の分類	建築構造を構法・形式・材料により分類を理解する		第35～36回		床スラブ、壁、階段の配筋について理解する	
第3回	木造の特徴	木造の特徴を理解する		第37～38回	S造の特徴	鉄骨構造の特徴を理解する	
第4～5回	木材の性質	木材の性質について理解する		第39～40回	鋼材の性質	鋼材の性質について理解する	
第6～7回	木質材料	木材の加工品について理解する		第41～42回	接合	高力ボルト接合、溶接について理解する	
第8回	在来軸組み工法	構成について理解する		第43～44回	骨組	梁、柱、筋交い、柱脚について理解する	
第9～10回		木材の接合について理解する		第45～46回		基礎、床組、階段、耐火被覆について理解する	
第11～12回	地業と基礎	地業・基礎の種類と特徴を理解する		第47回	SRC造	鉄骨鉄筋コンクリート造について理解する	
第13～14回	軸組	軸組の構造と筋交いについて理解する		第48回	CB造	補強コンクリートブロック造について理解する	
第15～16回	小屋組	小屋組について理解する		第49回	その他の構造	プレストレスト構造等について理解する	
第17～18回	床組	床組について理解する		第50～51回	仕上げ①	防水、屋根について理解する	
第19回	階段	階段について理解する		第52～53回	仕上げ②	外壁、床について理解する	
第20～22回	枠組壁工法	構成・規格・接合方法を理解する		第54～55回	仕上げ③	内壁、天井について理解する	
第23～24回	構造用大断面 集成材構法	構造の特徴、架構方式、接合方式を理解する		第56～57回	仕上げ④	階段、収納、床の間について理解する	
第25～26回	RC造の特徴	鉄筋コンクリート造の特徴、構造形式を理解する		第58回	開口部①	建具金物について理解する	
第27～28回	鉄筋とコンクリート	鉄筋、コンクリートそれぞれの性質、特徴を理解する		第59回	開口部②	外部建具の種類について理解する	
第29～30回	配筋の基本	付着、定着、あき、かぶり厚さ等の基本的事項を理解する		第60回	開口部③	内部建具の種類について理解する	
第31～32回	基礎、地盤	基礎形状、地盤の特徴を理解する					

## 2024年度 授業計画 (シラバス)

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	設計製図Ⅰ			担当教員	藤原真由美	時期	前期
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	演習	授業場所	普通教室
実務教員	○	実務経験	設計事務所勤務経歴をもつ一級建築士の教員が、実務経験を踏まえて指導を行う。				
授業の到達目標	設計製図に関する日本工業規格および製図の基礎的な知識と技術を習得させ、設計図などを正しく読み取る能力を育てる。						
授業の概要	設計製図に関する日本工業規格および製図の基礎的な知識と技術を講義し、実技実習を通して、木造ならびに鉄筋コンクリート造等の図面を描ける能力を習得する。また、快適な建築空間を提案できる能力を習得する。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び課題						
使用教材	建築デザイン製図 (学芸出版社)、平行定規 A 2 版、三角スケール、三角定規、製図用シャープペン、型板 他						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	練習	製図の線・文字の練習をする。		第25回	制作課題2	課題説明、コンセプト設定、ゾーニング 検討	
第2回	スケッチ1	抽象画を描く。		第26回		エスキス検討	
第3回	スケッチ2	風景と建物を描く。		第27回		エスキスモデル制作	
第4回	トレース1	配置図・平面図の説明		第28回		ドローイング	
第5～7回		配置図・平面図トレース		第29回		ドローイング	
第8回	トレース2	立面図の説明		第30回		プレゼンテーション、発表と講評	
第9～11回		立面図のトレース					
第12回	トレース3	断面図・展開図の説明					
第13～15回		断面図・展開図のトレース					
第16～18回	表現技法	アイソメとパースの説明、描写、着彩					
第19回	制作課題1	課題説明、コンセプト設定、ゾーニング 検討					
第20回		エスキス検討					
第21回		エスキスモデル制作					
第22回		ドローイング					
第23回		ドローイング					
第24回		プレゼンテーション、発表と講評					

## 2024年度 授業計画 (シラバス)

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	設計製図Ⅱ			担当教員	甘利賢一	時期	後期
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	演習	授業場所	普通教室
実務教員	○	実務経験	設計事務所勤務経歴をもつ一級建築士の教員が、実務経験を踏まえて指導を行う。				
授業の到達目標	設計製図に関する日本工業規格および製図の基礎的な知識と技術を習得させ、設計図などを正しく読み取る能力を育てる。						
授業の概要	設計製図に関する日本工業規格および製図の基礎的な知識と技術を講義し、実技実習を通して、木造ならびに鉄筋コンクリート造等の図面を描ける能力を習得する。また、快適な建築空間を提案できる能力を習得する。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び課題						
使用教材	平行定規 A 2 版、三角スケール、三角定規、製図用シャープペン、型板 他						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	制作課題 1	課題説明		第16回	制作課題 2	エスキスモデル製作	
第2回		デザインの検討		第17回		ドローイング	
第3回		コンセプト、ゾーニング検討		第18回		ドローイング	
第4回		エスキス検討		第19回		プレゼン準備	
第5回		エスキス検討		第20回		発表と講評	
第6回		エスキスモデル製作		第21回	制作課題 3	課題説明	
第7回		ドローイング		第22回		デザインの検討	
第8回		ドローイング		第23回		コンセプト、ゾーニング検討	
第9回		プレゼン準備		第24回		エスキス検討	
第10回		発表と講評		第25回		エスキス検討	
第11回	制作課題 2	課題説明		第26回		エスキスモデル製作	
第12回		デザインの検討		第27回		ドローイング	
第13回		コンセプト、ゾーニング検討		第28回		ドローイング	
第14回		エスキス検討		第29回		プレゼン準備	
第15回		エスキス検討		第30回		発表と講評	



## 2024年度 授業計画 (シラバス)

学科	建築インテリア科	コース		年次	1	必修選択	必修
科目名	建築基礎			担当教員	片倉隆幸	時期	通年
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	講義+演習	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	世界に影響を与えた建築家の考え方と名作住宅の表現技法を学ぶ。模型製作を通して建築の美しさとつくり方の作法を学ぶ (模型製作は、学生の進行状況を見て考える)						
授業の概要	20世紀 世界中に強く影響を与えた名作住宅を分析しながら住宅の美しさ、快適さ、巧みなアプローチ、等々様々な方法を探る。また建築家の生きた時代背景を探り現代の建築思潮を考える。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び課題 成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。						
使用教材	建築を知る 世界で一番美しい名作住宅の解剖図鑑 増補改訂版 その他 表現技法の本 ポール・ルドルフ等 模型制作のため カッター 定規 スコヤ等各自用意						
履修上の注意事項	模型製作の場合基本的な図面が揃っている作品を抽出する。						
授業内容							
前期				後期			
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	建築家とは 何をする人 1	パワーポイントにて建築家とは?住まい方の思想		第19回		考察&作業	
第2回	建築家とは 何をする人 2	建築を知る 世界で一番美しい住宅の解剖図鑑を俯瞰する		第20回		考察&作業	
第3回	名作住宅 1	考察		第21回	名作住宅 7	考察	
第4回		考察		第22回		考察	
第5回		ポスターセッション		第23回		ポスターセッション	
第6回	名作住宅 2	考察		第24回	名作住宅 8	考察	
第7回		考察		第25回		考察	
第8回		ポスターセッション		第26回		ポスターセッション	
第9回	名作住宅 3	考察		第27回	名作住宅 9	考察	
第10回		考察		第28回		考察	
第11回		ポスターセッション		第29回		ポスターセッション	
第12回	名作住宅 4	考察&作業		第30回	私+建築+地 域+地球のこ と	ディスカッション	
第13回		考察&作業					
第14回		考察&作業					
第15回	名作住宅 5	考察&作業					
第16回		考察&作業					
第17回		考察&作業					
第18回	名作住宅 6	考察&作業					

## 2024年度 授業計画 (シラバス)

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	CAD演習			担当教員	藤原真由美	時期	通年
単位数	4	総授業時間数	120	授業形式	演習	授業場所	パソコン教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	CADに関する基礎知識を習得させ、操作技術能力を養う。また、設計図の理解力を深める。 CAD、模型、スケッチでの表現力を高める。建築プレゼンテーションの方法を学ぶ。						
授業の概要	CADに関する基礎知識の講義し、並びに演習により設計図の理解力を深め、操作技術を修得する。 JWCAD、AutoCADを使いCADに関する基礎知識と操作技術を習得する。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び課題						
使用教材	Jw_cadで学ぶ建築製図の基本 (エクснаレッジ)、インテリアコーディネーターハンドブック (上・下) (ハウジングエージェンシー) はじめて学ぶAutoCAD2024作図・操作ガイド						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1～3回	建築表現の基本	建築設計製図、CADの概要説明					
第4～6回	Jw_CAD 基本操作	画面構成、アイコン、基本設定					
第7～9回	作図の基本	線の作図と編集、矩形と円・円弧の作図と編集、文字・寸法の記入					
第10～12回	作図の準備	用紙サイズの設定、レイヤと縮尺、専属性、図面枠の作成					
第13～16回	作図	1階平面図					
第17～19回	作図	2階平面図、屋根伏図					
第20～22回	作図	断面図、立面図、印刷					
第23～30回	課題製作	インテリア作品発表会用図面作成					
第31～32回	AutoCAD 基本操作	画面構成、アプリケーションメニュー、マウス操作、ファイル管理					
第33～34回	作図の基本	直線、円、円弧、削除、四角形、多角形、楕円					
第35～37回	図形の編集	図形の移動・複写、尺度変更					
第38～40回	画層の管理	画層の作成と管理 図面枠の作成					
第41～43回	文字と寸法線	文字設定と入力、寸法線の設定と入力、編集					
第44～47回	作図	配置図・平面図・屋根伏図					
第48～51回	作図	立面図・断面図					
第52～55回	印刷	図面の整理、印刷					
第56～57回	レイアウト	画像データの挿入方法					
第58～60回	レイアウト	設計製図作品のプレゼンボード作成					

## 2024年度 授業計画 (シラバス)

学科	建築インテリア科	コース	—	年次	1	必修選択	必修
科目名	プレゼンテーションⅠ			担当教員	丸山めぐみ	時期	通年
単位数	4	総授業時間数	120	授業形式	演習	授業場所	普通教室 パソコン教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	自らが自分の考えを持ち、それを伝えるための手段や方法を身に付け、様々なプレゼンテーション演習を通して説明する力や相手を納得させることができる表現力の向上を目指す。						
授業の概要	プレゼンテーションの必要性を理解した上でテクニックを習得し、実際に発表する機会を数多く体験することで聞き手の心に届く発表ができるよう伝え方の上達を目指す。						
成績評価方法	成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。 授業態度、発表態度、作品完成度、発表会成績						
使用教材							
履修上の注意事項	10月に行われる合同プレゼン大会には必ず参加すること。						
授業内容							
前期				後期			
	単元	内容			単元	内容	
第1回	プレゼンテーション概要	授業の目的、到達目標、授業の流れ・目的、プレゼンテーションとは		第31~37回	グループワーク 課題1	発表会準備 (制作指導)	
第2回	プレゼンテーション講義1	聞き手の階層構造		第38~41回	グループワーク 課題1	発表会	
第3回	プレゼンテーション講義2	論理的アプローチ 感情的アプローチ		第42回	グループワーク 課題1	発表会振り返り(個人・グループ)	
第4回	プレゼンテーション講義3	わかりやすいプレゼンテーション 情報伝達のコツ		第43回	グループワーク 課題2	起業体験 「株式会社」の仕組みを理解する	
第5~6回	自己分析	マインドマップ制作 グループ内発表		第44回	グループワーク 課題2	起業体験 「株式会社」の設立シミュレーション	
第7回	伝える技術	ロジカルシンキング		第45回	グループワーク 課題2	起業体験 発表	
第8回	伝える技術	話の構成 序論・本論・結論		第46~50回	グループワーク 課題3	発表会準備 求められる社会人像	
第9回	伝える技術 個人課題1	スピーチ実践 (発表)		第51回	グループワーク 課題3	実践 (発表会)	
第10~14回	伝える技術	PowerPoint操作		第52~55回	個人課題3	魅力的な観光地調査 スライド作り	
第15~20回	伝える技術 個人課題2	作品制作		第56回	個人課題3	実践 (発表会)	
第21回	伝える技術 個人課題2	実践 (発表会)		第57~59回	制作実習	外部コンテスト出品準備 A3用紙1枚にまとめる練習	
第22~23回	グループワーク 課題1	ブレインストーミング・KJ法		第60回	まとめ	学習の振り返り (作文)	
第24~30回	グループワーク 課題1	発表会準備 社会をよりよくするアイデア					



2024年度 授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	自己表現			担当教員	菱川容子	時期	通年
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	講義	授業場所	普通教室又は 大会議室
実務教員	○	実務経験	テレビ局でのアナウンサー経験を活かし、思いを伝えるのための発声や呼吸法等の指導を行う。				
授業の到達目標	「伝える力」を培い、あらゆる場面で役立つ表現力を身につける。						
授業の概要	基礎となる発声や呼吸法の練習のほか、あがり症克服のメンタルトレーニング、スピーチの基礎を織り交ぜながら、プレゼンテーションや面接など、場面を想定して練習を行う。						
成績評価方法	成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。出席状況と授業態度による。						
使用教材	プリント						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単元	内 容			単元	内 容	
第1回	目的・発声確認	目的・進め方・学びのポイント 発声チェック		第16回	説明力・図形	説明する力と聴く力を育む 地図の説明で実践	
第2回	あがり症	あがりのメカニズム アイスブレイク		第17回	伝える・聴く	伝える力と聴く力を育む 絵並べゲーム①	
第3回	腹式呼吸	腹式呼吸とは 腹式呼吸練習		第18回	伝える・聴く	伝える力と聴く力を育む 絵並べゲーム②	
第4回	発声と発音	発声のしくみと発声練習 正しい発音と発音練習		第19回	間・静と動	朗読により間をとる練習	
第5回	発声と発音	喉の開け方トレーニング		第20回	スピード	朗読でスピードコントロール練習	
第6回	表情と姿勢	表情筋トレーニング 姿勢チェック		第21回	音域	朗読で音域を広げる意識づけ	
第7回	自己紹介	原稿を考えグループ内で発表		第22回	言葉を紡ぐ	アウトプットの練習 与えられた題材からスピーチ	
第8回	自己紹介	クラスで発表		第23回	言葉を紡ぐ		
第9回	朗読	朗読でこれまでの学びの実践 ①腹式呼吸 ②姿勢		第24回	即答力	シャッフルスピーチで練習	
第10回	朗読	③視線 ④強い発声		第25回	即答力		
第11回	身体	言葉を届ける身体トレーニング		第26回	朗読	朗読で学びを定着させる	
第12回	スピーチ	伝わるスピーチの学びと実践 与えられたテーマで原稿作成・発表		第27回	面接	面接を想定し、姿勢、視線、表情、強い発声を軸に練習	
第13回	スピーチ	①語尾 ②スピード ③間		第28回	スピーチ	各自のテーマでスピーチ発表	
第14回	質問力	相手の話を聴くコミュニケーション		第29回	スピーチ		
第15回	社交不安症	赤面、視線恐怖などについて理解を深める		第30回	学習まとめ	1年の学びの総復習	

## 2024年度 授業計画 (シラバス)

学科	建築インテリア科	コース	—	年次	1	必修選択	必修
科目名	言葉力			担当教員	山極学	時期	前期
単位数	1	総授業時間数	30	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	「言葉は心に届いて初めて言葉」を目標に、読書によって得た美しい言葉を、自分の経験と重ねて「自分の言葉」にする。						
授業の概要	読み手の気持ちを考慮しつつ、相手に伝わる正しい文章を書く練習を重ねながら、自信を持って文章を書く力を養う。						
成績評価方法	出席状況と授業態度による						
使用教材	プリント						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単元	内 容			単元	内 容	
第1回	文章を書く目的	読み手を意識した文章の書き方					
第2回	映像を言葉へ	映像を読み手と共感する文章					
第3回	書くための準備	考える習慣を持つことの大切さ					
第4回	情報と知識	情報と知識の違いを理解する					
第5回	構成メモ	文章の設計図「構成メモ」					
第6回	文章の構成	様々な構成法を活用する					
第7回	時系列	時間の流れにそって書く文章					
第8回	マクロからミクロ	大きな視点から小さな視点へ					
第9回	主語と述語	主語と述語の関係を意識する					
第10回	修飾語と被修飾語	修飾語と修飾される言葉の距離					
第11回	文末の統一	「です・ます」と「である・だ」の違い					
第12回	読点・接続語・助詞	正しい使い方で文章をわかりやすくする					
第13回	指示語	「あれ」「これ」「それ」の違い					
第14回	話し言葉	話し言葉やら抜き言葉を使った文章					
第15回	まとめ	自分の言葉で伝える文章					

## 2024年度 授業計画 (シラバス)

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	キャリアプランニング			担当教員	藤原真由美	時期	通年
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	自己分析、業界・企業研究の仕方や就職するために必要なスキルを身につけ、自らが積極的に就職活動を行うための準備をする。また、なぜ働くのか、働くにあたって大切にすべきことは何かを考え、企業に必要とされる「人財」を目指す。						
授業の概要	テキストで基礎的な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーションについて学ぶ。 当校オリジナルテキストを使用して就職活動のノウハウ（やり方）と心構え（あり方）を学ぶ。						
成績評価方法	授業態度、課題・宿題提出状況 成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。						
使用教材	社会人常識マナー検定テキスト2・3級(全経)、就職活動テキスト						
履修上の注意事項							
授業内容							
前期				後期			
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	<b>第0回 就職対策授業</b>	比田井先生による就職対策授業		第19回	自己分析	自分の特徴 休日の過ごし方 他人から見た自分	
第2回	就職活動について	就職までの流れ、授業のルール		第20回	<b>第4回 就職対策授業</b>	比田井先生による就職対策授業	
第3回	<b>第1回 就職対策授業</b>	比田井先生による就職対策授業		第21回	履歴書①	履歴書の書き方 美しい文字の練習	
第4回	第1編 第1章 社会と組織	社会人としての自覚 組織と役割 社会の変化		第22回	履歴書①	封筒の書き方 添え状作成	
第5回	第2章 仕事と成果	仕事と目標 主体性と組織運営		第23回	履歴書②	志望動機	
第6回	第3章 一般知識	社会常識 ビジネスの基礎用語		第24回	美文字	梅岡隼子先生による美文字講座	
第7回	第3章 一般知識	類義語・対義語 日本を知る		第25回	美文字		
第8回	<b>第2回 就職対策授業</b>	比田井先生による就職対策授業		第26回	美文字		
第9回	第4章 ビジネス計算	計算センスを磨く		第27回	美文字		
第10回	第3編 第1章 職場のマナー	組織の一員として		第28回	履歴書②	清書	
第11回	第2章 来客応対	おもてなし 状況に応じた応対		第29回	面接	就職面接試験対策、面接練習	
第12回	第3章 電話応対	電話の受け方 かけ方		第30回	<b>第5回 就職対策授業</b>	比田井先生による就職対策授業	
第13回	第2編 コミュニケーション	ビジネスコミュニケーション 敬語 ビジネス文書		第31回	就職対策	仕事の選び方 求人票の見方	
第14回	<b>第3回 就職対策授業</b>	比田井先生による就職対策授業		第32回	就職対策	企業研究	
第15回	第4章 交際業務	慶事のマナー 弔辞のマナー		第33回	就職対策	就活サイト利用登録 適性検査	
第16回	第5章 文書類について	需は新文書の取り扱い		第34回	メール	ビジネスメールの送り方	
第17回	就職準備	なぜ働くのか？話し合いまとめ 就職に向けての決意					
第18回	就活準備	内定取得までの流れ 就活用メールアドレスの取得					